

令和 6 年 自己点検・自己評価施設関係者評価報告書

令和 7 年 4 月 1 日

社会福祉法人 亀鶴保育所

幼保連携型認定こども園 亀鶴こども園

1, 本園の教育・保育目標

本園は、たくましく心情豊かな子どもの育成を目指します。健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培う。また、人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にする心を育てるとともに、自主、自立及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培う事を目標とする。

2, 本年に取り組むべき課題

職員一人一人の保育の質を高め、より良い教育・保育の提供ができるよう、園内研修に力を入れ取り組む。職員同士での気づきの時間をもったり、自己研鑽の機会と時間を確保したりできるように取り組む。また、安全や防災に関しての対策が急務となっており、安全計画や BCP に沿って、職員への周知徹底を行い、常に冷静な判断・行動ができるよう、一人一人の防災への意識を高めていく。

3, 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度は、なかよしチームを作り、異年齢児（3・4・5歳児）交流の機会を増やしたことで、年長児への憧れの気持ちが芽生え、年下の子どもたちへの思いやりの気持ちを育むことができ、温かい関係・環境となった。

外部の行事参加の機会が増えたことで、園児の経験する機会を確保でき、地域の方に子どもたちの取り組みを見ていただくことができ、頑張る力や自信につながり、さらに、地域のお年寄りを園に招待し、大道芸やクリスマス会と一緒に楽しむ時間を持ち、子どもたちの成長をともに喜んでいただけた。

自然災害が頻発し、大きな災害の予兆を感じるが多かったため、行事予定にない避難訓練の回数を増やし、いつ災害が起きても、落ち着いて子どもたちの安全を守ることが出来るように職員の防災に対する意識を高めるよう取り組んだ。

職員個々のキャリアアップに関しては、市の開催する研修の他、県の保育協会や保育団体の開催するものなど、積極的に受講している。

保護者支援に関しては成長の喜びを共有し、安心して利用してもらえるようにサポートに努め、必要に応じて声掛けをし、懇談の時間を設け、細やかな配慮ができるようにしている。

学校関係者評価委員

社会福祉法人 亀鶴保育所

幼保連携型認定こども園 亀鶴こども園

園長

主幹保育教諭

主幹保育教諭

栄養士

仮屋睦子

芳川裕子

長曾我部千秋

木田英理子